



簡易ガイド・文書の種類・技術文書

PDFの山から仕様を探していますか？ これからは、すべての値が正確な場所 とともに見つかります。

PaperOfficeは、データシート、マニュアル、図面、試験報告書を種類ごとに認識し、テキストと表を読み取り、重要な値をフィールドとして取り出します。検索とドキュメントチャットが、正しい箇所を見つけます。保守、設計、購買、品質管理のためのガイドです。

要点を一文で

AI-DMSが技術文書を種類ごとに分類し、IDP Agentが重要な値をページと位置付きで読み取り、検索とドキュメントチャットがマニュアルの該当箇所へ直接導きます。

01・課題の内容

答えはマニュアルの中にあります。 問題は、何ページ目にあるかです。

データシート、マニュアル、図面、試験報告書は、多くのメーカーから届き、それぞれ独自のレイアウトを持っています。ネットワークドライブ、メール、バインダーに分かれて保管されています。締め付けトルク、使用圧力、補修部品番号が必要な人は、PDFを一つずつ開いてスクロールします。

なぜ起こるのか

メーカーごとに違うレイアウト

重要な値は、ある時は表の中に、別の時は本文の中に、または図面の表題欄にあります。サプライヤーごとの固定テンプレートでは、新しいメーカーに追いつけません。

散らばった保管場所

マニュアルはドライブに、データシートはメールボックスに、試験報告書はバインダーにあります。検索するには、まず文書がどこに保存され、どう呼ばれているかを知っている必要があります。

改訂版が追い越していく

メーカーが新しい版を送っても、古い版は出回ったままです。どの版が適用されるかは、ファイル名からは判断しにくいことが多いです。

気づくポイント

- 一つの値のために、複数のPDFを開き、ページごとにスクロールする。
- 同僚が、ある機械のマニュアルがどこに保存されているかを尋ねる。
- データシートの値が、保守計画やマスターデータに手で打ち込まれる。
- スキャンされた古い文書は、ドライブ検索の結果一覧のどれにも出てこない。
- 同じデータシートのファイルが複数出回っており、どの版が適用されるのか不明確。

02・PAPEROFFICEでの進め方

一度取り込めば、 必要なものを正確に見つけられる。

PaperOfficeは、保有資料をWorkspaceに取り込み、文書の種類を認識し、テキストと表を読み取って、定義した重要な値を取り出します。検索またはドキュメントチャットに尋ねることで、目的のものが見つかります。

1 保有資料を取り込む

インポートウィザードは、ZIPアーカイブ、Storage Mountのフォルダー、またはメールボックスから、プレビューと重複チェック付きでWorkspaceに取り込みます。銘板の写真はモバイルアプリで届きます。

モジュール: [インポートと移行](#)

2 文書の種類を認識する

AI-DMSは各文書に、データシート、マニュアル、技術図面、試験報告書、証明書などの種類を割り当てます。独自の種類も言葉で説明できます。

モジュール: [分類](#)

3 テキストと表を読み取る

AI-OCRは、スキャンや写真も読み取ります。Ultraティアでは、表が行と列付きの構造化データとして返され、言語はページごとに検出されます。

モジュール: [AI-OCR](#)

4 重要な値をフィールドに

IDP Agentは、部品番号、使用圧力、材質などのフィールドと、表を行ごとに読み取ります。すべての値には、原本内のページと位置が付きます。

モジュール: [IDP AGENT](#)

5 見つけて尋ねる

三語以上、または質問の形であれば、検索は意味でも動作し、一致箇所をハイライトします。ドキュメントチャットは、見つけた文書で答えます。

モジュール: [ドキュメントチャット](#)

03・アプリでの操作

アプリでの五つの手順。 ドライブから値まで。

技術文書の取り込み、重要な値の自動読み取り、マニュアルの該当箇所の再検索の方法です。AI-DMSを使ったWorkspaceが基盤になります。

1

保有資料を取り込む

Document AI > Workspaces の下で、対象のWorkspaceを選び、**アクション > ドキュメントをインポート** を選択します。ソースを設定し、プレビューを確認して、インポートを開始します。

2

データシートのためのエージェント

データシートを選び、**アクション > エージェントとワークフロー > IDP** の下でエージェントを作成し、フィールドを自分の言葉で説明します。**すべてのテストを実行** には、各フィールドの値、ページ、位置が表示されます。

3

種類ごとに自動化する

Document AI > **ドキュメントタイプ** の下で、データシートの種類に対して **IDP Agent をバインド** を選びます。それ以降は、AI-DMSの処理の後に、新しく認識されたデータシートがすべてエージェントによって読み取られます。

4

保有資料全体に尋ねる

エージェントに**質問** をクリックし、Workspaceを選んで、例えば「ポンプP-200に適用される使用圧力は？」と尋ねます。見つかった文書が回答の下に表示されます。

5

新しい改訂版を登録する

文書で **バージョン** を開き、**新しいバージョンをアップロード** を選びます。以前の版は保持され、比較で変更されたページとテキストの類似度が表示されます。

現場からのヒント

難しいデータシートでフィールドをテストする 最初のエージェントには、値の大きな表を含むデータシートと、スキャンを一つずつ選んでください。テスト実行を何度か繰り返します。値が毎回同じなら、エージェントはアーカイブ全体に対応できる状態です。

04・事例

一つの保守チーム、 多くのメーカー、一つのアーカイブ。



従業員120名の樹脂加工業者では、多くのメーカーの射出成形機、ポンプ、チラーを使っています。保守チームは、ネットワークドライブ、メールボックス、工場の作業場のバインダーに保存されたマニュアル、データシート、試験報告書を扱っています。

導入前

- 締め付けトルクや油量を知るには、まず正しいマニュアルを探し、それからめくらなければならない。
- チームは、データシートの値を保守計画に手で打ち込んでいる。
- マニュアルの新しい版が、ドライブの古い版と並んで置かれている。
- スキャンされた古い文書は、ドライブ検索からは見えない。

PAPEROFFICE導入後

- アーカイブは、インポートによって、一度AI-DMSのWorkspaceに取り込まれた。
- IDP Agentがすべての新しいデータシートを自動的に読み取り、値はCSVとして渡される。
- 技術者はドキュメントチャットに尋ね、名前の挙がった文書をタブレットで開く。
- 新しい版は同じ文書のバージョンとして保存され、古い版も保持される。

架空の例です。マスターデータや保守計画に値を入れる前に、ご自身のデータシートでどの値が確実に読み取られるかをテストしてください。

05・チェックリスト

技術文書のための チェックリスト

これらの点を使って、技術文書が検索と自動抽出の準備ができているかを確認してください。

- ☐ マニュアル、データシート、図面、試験報告書が、今どこに保存されているかが分かっている。
- ☐ フィールドは自分の言葉で説明されている。例：「単位付きの使用圧力」。
- ☐ 必須フィールドが設定されており、値の欠落がレビュータスクとして表示される。
- ☐ Workspaceごとにグループ権限が設定されている。閲覧、アップロード、またはフルアクセス。
- ☐ 重要な値がマスターデータにどう届くか、エクスポートかREST APIかを決めている。
- ☐ 文書の種類ごとに、定期的に必要な重要な値が明確になっている。
- ☐ 複数のメーカーのデータシートと一つのスキャンで、テスト実行が行われている。
- ☐ サプライヤーの文書と機密の図面は、別々のWorkspaceにある。
- ☐ 新しい改訂版は、既存の文書のバージョンとして保存される。
- ☐ 証明書については、タイムラインで有効期限を見守る担当者が決まっている。

06・よくある質問

技術文書についてよくある質問

メーカーごとにテンプレートが必要ですか？

フィールドは一度、自分の言葉で説明すれば十分です。新しいレイアウトでも、IDP Agentが内容から読み取ります。選んだサンプル文書からフィールドを提案させることもできます。

値が欠けている場合は、どうなりますか？

フィールドごとに設定します。確認付きの必須、デフォルト値、または空欄の許可です。レビューキューを選んでいれば、レビュータスクが作成されます。レビュータスクはProfessionalプランに含まれます。

重要な値は、どのようにマスターデータに届きますか？

JSON、CSV、またはExcelでのエクスポートとして、表から直接 **テーブルを Excel にコピー** を使うか、POST /documents/idp-agent-run を使うREST APIを通じてです。MCPでは、po_documents_idp_agent_run が使えます。

単位や許容差は一緒に読み取られますか？

フィールドをそれに合わせて説明してください。例：「単位付きの使用圧力」。テスト実行では、フィールドごとの値、ページ、位置が表示されるので、アーカイブ全体にエージェントを実行する前に、原本と照らして確認できます。

同僚は、マニュアルの該当箇所をどう見つけますか？

三語以上、または質問の形であれば、検索は意味でも動作し、ページ上的一致箇所をハイライトします。ドキュメントチャットは、複数のWorkspaceにまたがって質問に答え、回答の背後にある文書の名前を示します。

新しい改訂版は、どう扱われますか？

既存の文書の新しいバージョンとしてアップロードします。以前の版は変わらず残り、開く、比較する、または新しいバージョンとして復元できます。

07・始め方

最もよく使うデータシートから始めましょう。

PaperOfficeアカウントにサインインし、データシートをWorkspaceにアップロードして、最初のIDP Agentを作成してください。料金は利用量に基づきます。詳細は料金ページに記載されています。

保有資料を見直す

どのドライブ、メールボックス、フォルダーを、どのWorkspaceに入れるかを決めてください。

最初のエージェントをテストする

一つのデータシートのフィールドを説明し、テスト実行を何度か行い、値を原本と照らして確認してください。

自動化を有効にする

データシートの文書の種類にエージェントを割り当て、新しいデータシートがすべて自動的に読み取られるようにしてください。

関連データシート

インポートと移行

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-import-migration-ja.pdf

分類

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-classification-ja.pdf

AI-OCR

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-ocr-ja.pdf

IDP Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-idp-intelligent-document-processing-ja.pdf

スマート検索

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-smart-search-ja.pdf

ドキュメントチャット

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-document-chat-ja.pdf

このテーマの関連情報

技術文書

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/document/ai-technical-documentation-ocr-processing



このテーマの関連情報

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/document/ai-technical-documentation-ocr-processing

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase